

時が過ぎるのはあっという間で、第3クォーターも残り3週間半となりました。クォーターの終わりが近づくと、プロジェクトや探究も本格化し、また3年生となるとそれ以外の教科でも深く考え自分の意見を述べたり、調べて情報をまとめたりといった活動も増えてきます。1日の授業の中身が非常に濃いものとなるので、時々帰り際に疲れた様子が見られる子たちもいます。先週月曜日には体調を崩して保健室に休みに行く子が複数出たため、水曜日に「家に帰って体調が悪いと感じたら早めに休むこと。その場合宿題よりも体調が大事。宿題ができなかった場合は翌朝『自分から』先生に伝えにきたらいいんだよ。」と伝えました。

宿題のみならず、何かあった場合は「自分から」説明することを常に言い続けています。自分の行動には責任を持ち、やったことや起きたことをやり過ごすのではなく、その後はどう対応するか。またそれをどう振り返り次に活かすかについて、考え行動できる子たちに成長してほしいと思います。引き続きサポートの方をお願いいたします。

## プロジェクト ~第3クォーターmicro:bit プロジェクト~

3年生では第2クォーターのプロジェクトが延びてしまったため、15日(月)より第3クォーター、micro:bitプロジェクトを開始しました。今回は、「生活における問題や悩みを解決できる道具や物を micro:bit で作ろう」というプロジェクトです。10月に1年生の micro:bit の発表会を見学したり(22号に掲載)、青山学院大学の阿部先生に授業をしていただいたり(23号掲載)と、プログラミングや micro:bit に対する興味・関心が高いため、課題が発表された時は子どもたちもワクワクした表情でした。

プロジェクトを進める上で、何が必要で、それをどのように進めるかのプロセスの部分では、話し合いの中で意見をまとめ、「①micro:bit で何ができるのか、②どんな問題があるのか、③グループや個人などゴールに向けて取り組む形態を考える」の順番で進めることとなりました。先週は micro:bit のセンサーについて、6つのグループに分かれて担当し、エキスパートとなるため、本に載っている物を実際に作りました。プログラミングが本に載っている物を作るとはいえ、組む順番や数値を間違えてしまうと正しく動かないため、ミスが起きないように、何度も確認しながらグループ内で協力して進めていました。プログラムにアレンジを加える子や、プログラムの流れを自分の力でステップチャートにまとめる子もあり、これからが非常に楽しみです。

12/21(火)の第3クォーターの学習発表会で実際に作ったものを発表する予定です。楽しみに、ぜひ当日ご参加いただきますようお願いいたします。

## 算数 ~長尾 星史朗さん~

22日(月)に、長尾理事長の息子さんと、理工学部数学科3回生の長尾 星史朗さんが「身近にある算数の応用」をテーマに授業をしてくださいました。数字がふられた道がいくつもある中で、スタートからゴールまで数字を足していく時に、1番数が少ないルートを探す活動から始め、徐々にそのルートのパターンを増やしていき、最後は無数にあるルートを何の力を借りれば進んでいけるかについて考えました。子どもたちからは、AI・Siri・スーパーコンピュータなどが挙げられました。今回子どもたちが体験した活動は、Google マップのアルゴリズムを簡略化したもので、Google マップのルート検索に使われている考え方で、機械はそれを瞬時に判定し私たちに提案してくれていることを教わりました。算数とプログラミング等によって自分たちが普段使っているものが作られていることを知り、とても貴重な機会となりました。

写真は micro:bit を使ってプログラミングをしている様子と長尾 星史朗さんが授業をして下さっている様子です。